

平成29年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）

発育と健康

平成29年12月

兵庫県

はじめに

学校保健統計調査は、幼児、児童及び生徒の発育状態及び健康状態を明らかにすることを目的に、昭和 23 年度以降毎年度実施されている基幹統計調査です。

この報告書は、平成 29 年度に実施した学校保健統計調査の文部科学省速報値をもとに、兵庫県の結果をとりまとめたものです。

本書を、学校保健に関する基礎資料として、広くご活用いただければ幸いです。

最後に、この調査の実施に多大のご協力をいただきました調査実施校の皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご協力をお願いいたします。

平成 29 年 12 月

兵庫県企画県民部ビジョン局統計課長

目 次

調査の概要	1
利用上の注意	2
調査結果の概要	3
I 幼児・児童・生徒の発育状態	3
1 身長・体重の平均値及び標準偏差	3
2 親の世代(30年前)との比較	4
3 10年ごとの体位の推移	5
4 男女の体位差	7
5 年間発育量	8
II 幼児・児童・生徒の健康状態	9
1 むし歯(う歯)	10
2 裸眼視力	10
3 アトピー性皮膚炎	11
4 ぜん息	11
III 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率	
1 肥満傾向児の出現率	12
2 痩身傾向児の出現率	12
＜統計表＞	
1 発育状態の年次別推移(兵庫県)	13
2 年齢別疾病・異常被患率等(全国平均)	17
年齢別疾病・異常被患率等(兵庫県)	19
3 肥満・痩身傾向児の出現率	25

調査の概要

1 調査の目的

学校における幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

(1)満5歳から17歳(平成29年4月1日現在)までの児童等の一部。

(2)調査実施校、調査対象者数及び抽出率は、次のとおり。

学校種別	学校総数	調査実施校数	児童等総数(A)(人)	発育状態調査対象者数(B)(人)	全児童等に対する割合(B/A)	健康状態調査対象者数(C)(人)	全児童等に対する割合(C/A)
幼稚園および幼保連携型認定こども園(5歳児)	906園	53園	32,428	2,122	6.54%	3,729	11.50%
小学校	767校	64校	291,912	6,141	2.10%	39,004	13.36%
中学校	390校	44校	150,450	5,153	3.43%	23,917	15.90%
高等学校	209校	40校	142,180	3,406	2.40%	33,173	23.33%

○学校総数及び児童等総数は平成29年度学校基本調査結果による。

注1 学校総数算出の際、中等教育学校は中学校と高等学校の両方に、義務教育学校は小学校と中学校の両方に計上している。

注2 児童等総数には、小学校で義務教育学校(1年生～6年生)の児童数が、中学校で義務教育学校(7年生～9年生)と中等教育学校(前期課程)の生徒数が、高等学校で中等教育学校(後期課程)の生徒数がそれぞれ含まれている。

注3 高等学校の学校総数及び児童等総数には通信制は含まれていない。

3 調査事項

(1) 児童等の発育状態(身長および体重)

(2) 児童等の健康状態(栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯及び口腔の疾病・異常の有無、結核の有無及び結核に関する検診の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無)

4 調査の実施時期及び方法

(1) 調査は、学校保健安全法により4月から6月に実施される健康診断の結果に基づき実施する。

(2) 調査の報告義務者は、調査実施校の長とする。

(3) 調査系統は、次のとおりである。

文部科学大臣 — 県知事 — 調査実施校の長

5 調査実施校と調査対象者の抽出方法

この調査における標本抽出の方法は、発育状態調査は層化二段無作為抽出法、健康状態調査は層化集落抽出法である。抽出手順は、次のとおりである。

(1) 県内の学校を児童生徒数が大きい方から小さい方へと並び替えて、通し番号をふる。

(2) 通し番号順に児童生徒数を累積する。

(3) 累積和に従い、各層の児童生徒数がほぼ等しくなるように、

幼稚園:4層 小学校:10層 中学校:6層 高等学校:5層 に層化する。

(4) 兵庫県の割当学校数を層の数で割り、1層あたりの割当学校数を求める。

(5) 各階層内で、調査実施校を単純無作為抽出する。

(6) 健康状態調査については対象校の全生徒について、発育状態調査については抽出された学校から系統抽出により児童等を抽出する。

利用上の注意

- 1 年齢は、平成29年4月1日現在の満年齢である。
- 2 幼稚園には幼保連携型認定こども園を、中学校には中等教育学校の前期課程、高等学校には中等教育学校の後期課程を含む。
- 3 この報告書は、文部科学省において集計された速報値をもとにとりまとめたものであり、後日、文部科学省から公表される数値が確定値となる。
- 4 本報告書の記号は次のように使う。
 - 「－」 …… 該当者がいない場合
 - 「0.0」 …… 計数が単位未満の場合
 - 「…」 …… 調査対象とならなかった場合
 - 「X」 …… 疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳児は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない場合
- 5 文中の表、図、巻末の統計表等の数値については、単位未満を四捨五入するため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。

調査結果の概要

I 幼児・児童・生徒の発育状態

1 身長・体重の平均値及び標準偏差

平成 29 年度の児童等の身長、体重の全国及び本県の平均値及び標準偏差を年齢別にみると、下表のとおりである。(表1)

表 1 身長・体重の平均値及び標準偏差

H29

区 分			身 長 (cm)				体 重 (kg)			
			全国		兵庫県		全国		兵庫県	
			平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
男子	幼稚園	5歳	110.3	4.79	109.8	4.42	18.9	2.64	18.6	2.31
		6	116.5	4.96	116.8	5.03	21.4	3.34	21.4	3.20
	小学校	7	122.5	5.15	122.7	4.90	24.1	4.08	24.1	4.04
		8	128.2	5.39	128.2	5.47	27.2	5.04	26.9	4.93
		9	133.5	5.66	133.7	5.41	30.5	6.26	30.3	5.79
		10	139.0	6.09	139.4	6.07	34.2	7.22	34.0	6.85
		11	145.0	7.12	145.6	6.96	38.2	8.35	37.8	7.99
	中学校	12	152.8	8.00	152.3	7.96	44.0	9.62	42.7	9.00
		13	160.0	7.65	159.4	7.86	49.0	9.83	47.9	9.69
		14	165.3	6.68	165.3	6.82	53.9	9.83	53.7	9.26
	高等学校	15	168.2	5.95	168.1	5.83	58.9	10.70	57.7	9.98
		16	169.9	5.85	170.1	5.71	60.6	10.26	59.6	8.85
		17	170.6	5.87	170.9	5.85	62.6	10.38	61.3	8.25
女子	幼稚園	5歳	109.3	4.69	109.4	4.52	18.5	2.51	18.3	2.33
		6	115.7	4.87	115.6	5.05	21.0	3.22	20.6	3.19
	小学校	7	121.5	5.13	121.1	5.04	23.5	3.78	23.3	3.68
		8	127.3	5.52	127.4	5.66	26.4	4.66	26.5	4.53
		9	133.4	6.14	133.4	5.96	29.9	5.79	29.7	5.11
		10	140.1	6.76	140.1	6.89	34.0	6.92	33.7	6.79
		11	146.7	6.65	146.8	6.44	39.0	7.78	38.8	7.43
	中学校	12	151.8	5.97	151.9	6.04	43.6	8.01	43.2	7.63
		13	154.9	5.43	154.9	5.41	47.2	7.60	46.5	7.24
		14	156.5	5.34	156.6	5.23	50.0	7.45	49.9	7.15
	高等学校	15	157.1	5.32	157.7	5.20	51.6	7.68	51.7	7.20
		16	157.6	5.44	157.2	5.17	52.6	7.74	52.2	7.98
		17	157.8	5.33	157.5	5.44	53.0	7.82	52.8	7.56

※「標準偏差」とはデータの散らばりの度合いを示す数値

2 親の世代(30年前)との比較

30年前の昭和62年度(親の世代)の県平均値と比べると、身長・体重ともに男女共多くの年齢で増加している。

最も差が大きい年齢は、身長では男子11歳の2.4cm、女子10歳と11歳の1.0cm、体重では男子11歳の1.3kg、女子11歳の1.0kgである。(表2)

表2 体位の平成29年度県平均値と昭和62年度県平均値との差

H29

区 分			身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			平成29年度	昭和62年度	差	平成29年度	昭和62年度	差
男 子	幼 稚 園	5 歳	109.8	110.6	▲ 0.8	18.6	19.0	▲ 0.4
		6	116.8	116.7	0.1	21.4	21.2	0.2
	小 学 校	7	122.7	122.1	0.6	24.1	23.4	0.7
		8	128.2	128.1	0.1	26.9	26.6	0.3
		9	133.7	132.6	1.1	30.3	29.6	0.7
		10	139.4	138.2	1.2	34.0	32.9	1.1
		11	145.6	143.2	2.4	37.8	36.5	1.3
	中 学 校	12	152.3	150.5	1.8	42.7	42.1	0.6
		13	159.4	158.1	1.3	47.9	47.2	0.7
		14	165.3	164.3	1.0	53.7	53.1	0.6
	高 等 学 校	15	168.1	168.0	0.1	57.7	57.7	0.0
16		170.1	169.9	0.2	59.6	60.4	▲ 0.8	
17		170.9	170.4	0.5	61.3	61.2	0.1	
女 子	幼 稚 園	5 歳	109.4	110.2	▲ 0.8	18.3	18.8	▲ 0.5
		6	115.6	115.3	0.3	20.6	20.6	0.0
	小 学 校	7	121.1	121.2	▲ 0.1	23.3	22.9	0.4
		8	127.4	126.6	0.8	26.5	25.7	0.8
		9	133.4	132.7	0.7	29.7	29.2	0.5
		10	140.1	139.1	1.0	33.7	33.2	0.5
		11	146.8	145.8	1.0	38.8	37.8	1.0
	中 学 校	12	151.9	151.1	0.8	43.2	43.2	0.0
		13	154.9	154.7	0.2	46.5	46.7	▲ 0.2
		14	156.6	156.5	0.1	49.9	49.3	0.6
	高 等 学 校	15	157.7	157.3	0.4	51.7	51.6	0.1
16		157.2	158.0	▲ 0.8	52.2	52.8	▲ 0.6	
17		157.5	157.7	▲ 0.2	52.8	52.2	0.6	

※ 「差」とは、平成29年度県平均値から 昭和62年度県平均値を差し引いたもの

3 10年ごとの体位の推移

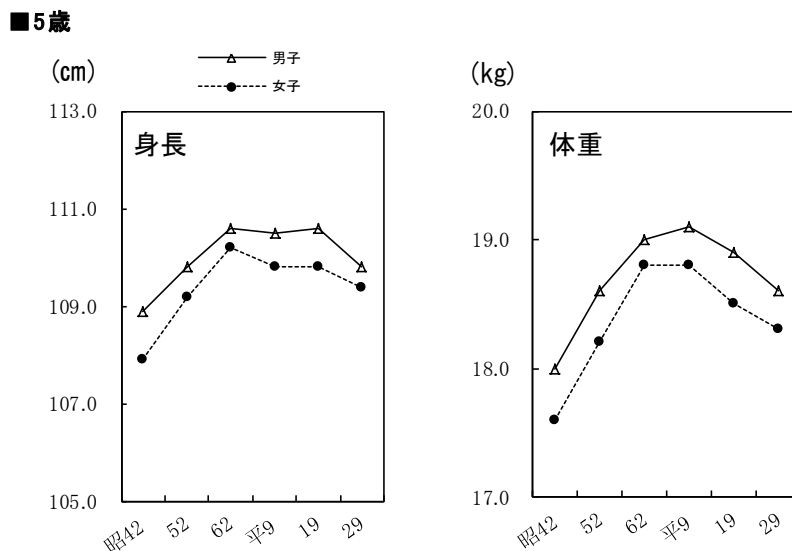
幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の最終学年(5歳、11歳、14歳、17歳)の身長及び体重について、50年前(昭和42年度)から10年ごとに推移を見ると、身長、体重ともに50年前と比べるとすべての年齢で増加しているが、伸びは徐々に鈍化しており、直近の10年間を見ると減少傾向がうかがえる。(表3、図1)

- ① 身長は、50年前と比較して、11歳男子で5.6cm、11歳女子で5.4cmをはじめとして、すべての年齢で高くなっている。しかし、10年前と比較すると、男子は5歳で0.8cm、17歳で0.5cm、女子は5歳で0.4cm、11歳で0.1cm、14歳で0.2cm、17歳で0.5cm減少している。
- ② 体重は、50年前と比較して、14歳の男子で4.6kg、11歳女子で4.6kgをはじめとして、すべての年齢で増加している。しかし、10年前と比較すると、男子は5歳で0.3kg、11歳で0.6kg、14歳で0.3kg、17歳で2.3kg、女子は、5歳で0.2kg、11歳で0.1kg、14歳で0.4kg、17歳で0.5kg減少している。

表3 体位の推移

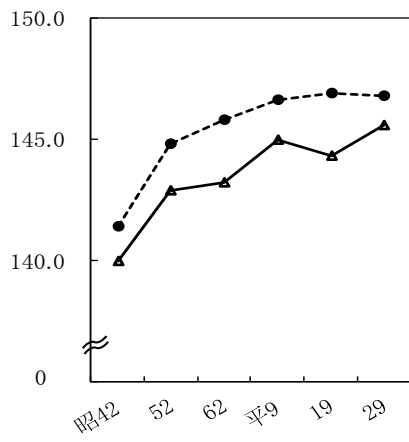
区分		昭和42年度		昭和52年度		昭和62年度		平成9年度		平成19年度		平成29年度	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
身長 (cm)	5歳	108.9	107.9	109.8	109.2	110.6	110.2	110.5	109.8	110.6	109.8	109.8	109.4
	11	140.0	141.4	142.9	144.8	143.2	145.8	145.0	146.6	144.3	146.9	145.6	146.8
	14	160.4	153.6	162.8	155.5	164.3	156.5	165.0	156.5	165.0	156.8	165.3	156.6
	17	168.1	155.5	169.8	157.0	170.4	157.7	171.2	158.6	171.4	158.0	170.9	157.5
体重 (kg)	5歳	18.0	17.6	18.6	18.2	19.0	18.8	19.1	18.8	18.9	18.5	18.6	18.3
	11	33.3	34.2	35.7	37.2	36.5	37.8	38.8	38.9	38.4	38.9	37.8	38.8
	14	49.1	47.1	51.4	48.7	53.1	49.3	54.3	49.9	54.0	50.3	53.7	49.9
	17	58.1	51.1	59.8	51.6	61.2	52.2	62.8	52.7	63.6	53.3	61.3	52.8

図1 年齢別の体位の推移

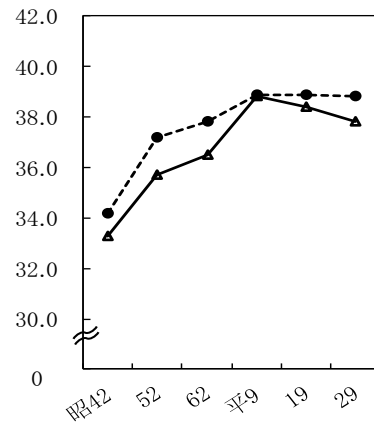


■ 11歳

(cm)

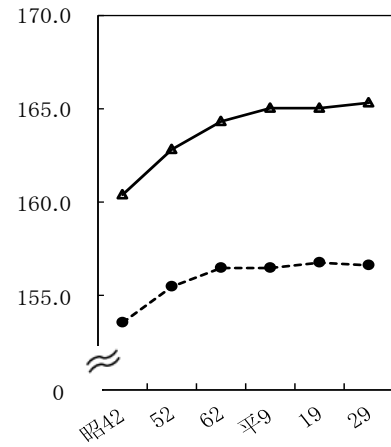


(kg)

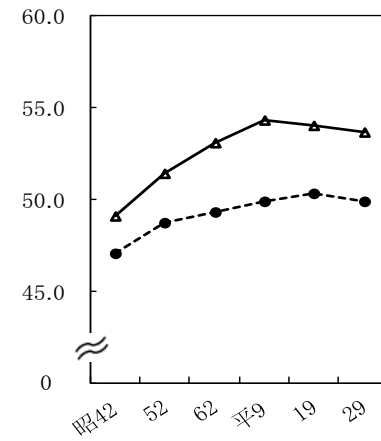


■ 14歳

(cm)

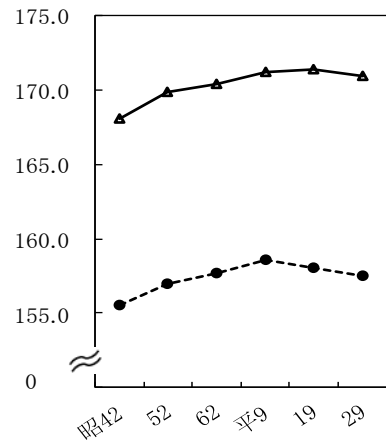


(kg)

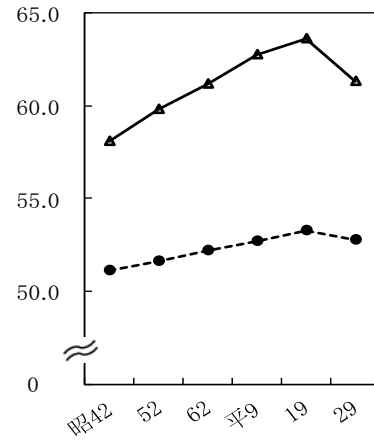


■ 17歳

(cm)



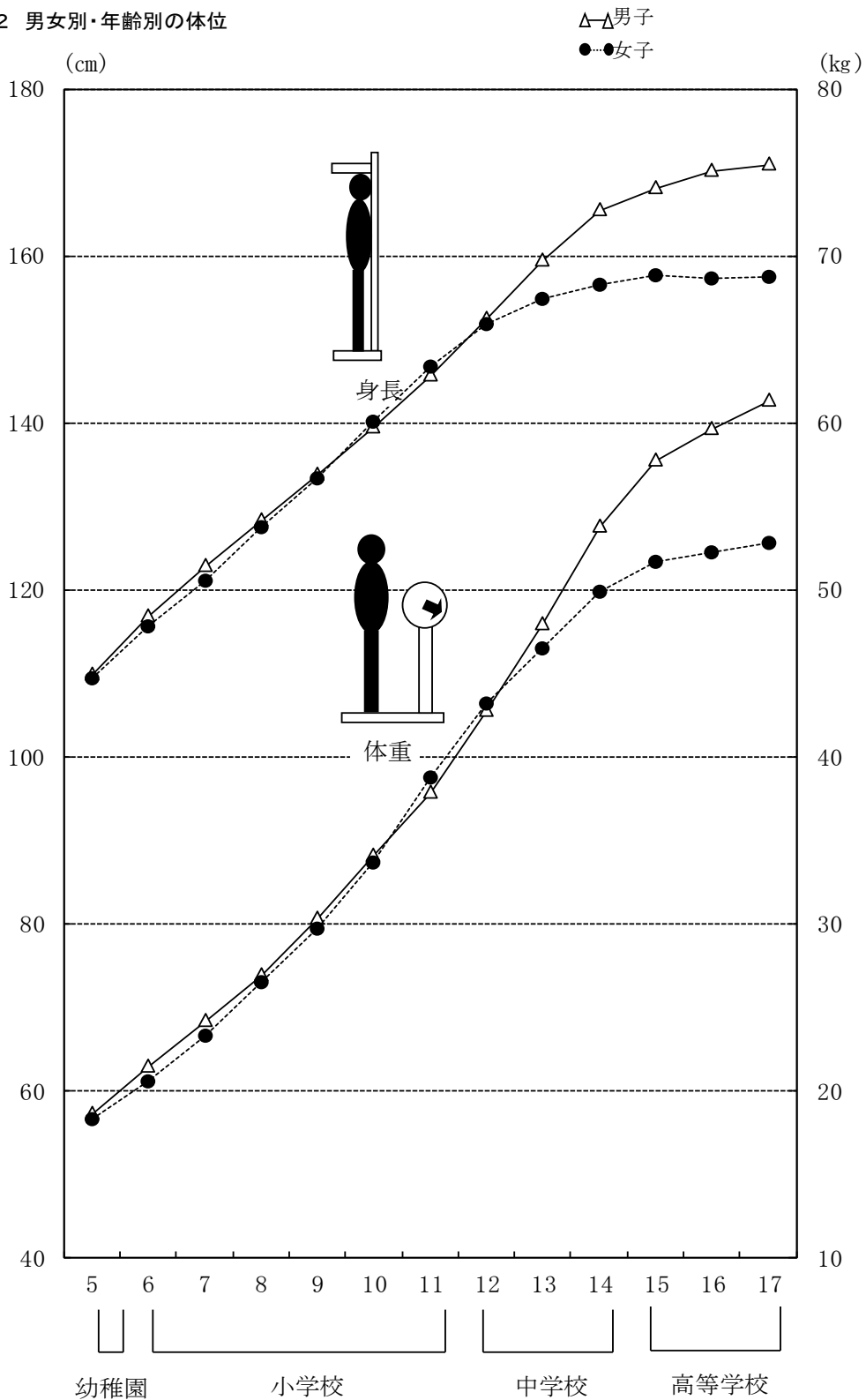
(kg)



4 男女の体位差

身長は10歳から11歳の間、体重は11歳から12歳の間では女子が男子を上回っているが、それ以外ではいずれも男子が女子を上回っている。(図2)

図2 男女別・年齢別の体位



5 年間発育量

最も大きい年間発育量(本年度平均値から前年度1歳下の平均値を差し引いたもの)は、男子は身長は11歳～12歳(7.5 cm増加)、体重は13歳～14歳(6.1 kg増加)、女子は身長は10歳～11歳(7.2 cm増加)、体重は11歳～12歳(5.3 kg増加)である。

なお、女子の身長は16歳～17歳で0.2 cm減少しているほか、15歳～16歳では変化なしとなった。(表4)

表4 年間発育量(平成28年度～平成29年度)

区 分	男子		女子	
	身長 (cm)	体重 (kg)	身長 (cm)	体重 (kg)
5～6歳	6.2	2.5	6.0	2.2
6～7	6.2	2.8	5.6	2.6
7～8	5.8	3.2	6.4	3.5
8～9	5.6	3.2	6.5	3.8
9～10	6.0	4.1	6.9	4.0
10～11	7.0	4.4	7.2	5.1
11～12	7.5	5.3	5.4	5.3
12～13	7.0	4.4	2.8	3.3
13～14	6.0	6.1	1.6	2.5
14～15	3.1	4.3	1.2	1.9
15～16	2.0	2.5	0.0	1.2
16～17	1.4	2.0	▲ 0.2	0.2

II 幼児・児童・生徒の健康状態

平成 29 年度の幼稚園、小学校、中学校及び高等学校における幼児、児童及び生徒の主な疾病・異常の被患率等を学校種別に見ると、下表のとおりである。(表5)

表5 学校種別疾病・異常被患率

H29

区 分		幼稚園			小学校			中学校			高等学校			
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	
(%)														
裸眼視力	計	17.0	17.2	16.9	30.7	26.9	34.6	X	45.5	X	-	-	-	
	1.0未満0.7以上	13.8	14.4	13.3	10.6	9.3	12.0	X	X	X	-	-	-	
	0.7未満0.3以上	2.6	2.3	2.9	12.3	10.8	14.0	X	X	X	-	-	-	
	0.3 未 満	0.6	0.6	0.7	7.7	6.8	8.7	X	X	X	-	-	-	
眼 の 疾 病 ・ 異 常		4.2	4.3	4.2	6.0	6.3	5.7	6.3	6.8	5.8	4.8	5.2	4.3	
難 聴		0.8	0.6	0.9	0.5	0.3	0.6	0.2	0.1	0.2	
咽耳	耳 疾 患	6.3	6.2	6.5	8.8	8.5	9.0	5.4	5.7	5.0	3.9	4.4	3.4	
	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	3.2	3.7	2.6	15.2	18.8	11.4	13.7	15.8	11.5	11.0	10.9	11.1	
頭鼻	口腔咽喉頭疾患・異常	1.7	1.4	1.9	1.4	1.6	1.3	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4	0.6	
歯 ・ 口 腔	むし歯 (う歯)	計	31.6	33.2	30.0	46.1	47.8	44.4	36.2	34.4	38.0	46.7	45.0	48.5
		処置完了者	12.6	12.5	12.6	24.5	25.7	23.2	23.0	21.2	24.9	27.2	25.2	29.2
		未処置歯のある者	19.0	20.7	17.3	21.6	22.1	21.1	13.1	13.2	13.1	19.5	19.7	19.3
	歯 列 ・ 咬 合	3.5	4.2	2.9	6.4	5.7	7.1	5.9	5.1	6.7	7.8	6.7	9.0	
	顎 関 節	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.6	0.6	0.7	1.4	1.0	1.7	
	歯 垢 の 状 態	0.8	1.3	0.3	3.5	4.1	2.9	4.7	5.5	3.9	6.8	7.8	5.8	
	歯 肉 の 状 態	0.4	0.7	-	2.3	2.7	1.9	3.9	4.4	3.3	7.7	8.8	6.7	
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常		2.8	2.2	3.4	7.2	7.2	7.3	3.0	3.3	2.7	0.8	0.8	0.7
	(本)													
永久歯の1人当たり平均むし歯数等	計		0.7	0.7	0.7
	喪失歯数		0.0	0.0	0.0
	むし歯	計	0.7	0.7	0.7
		処置歯数	0.5	0.4	0.5
未処置歯数		0.2	0.3	0.2	
(%)														
栄 養 状 態		0.3	0.3	0.2	1.2	1.5	1.0	0.5	0.6	0.4	0.6	0.7	0.6	
せき柱・胸郭・四肢の状態		0.2	0.2	0.2	1.0	1.0	1.0	3.1	2.7	3.5	1.5	0.9	2.0	
疾 患 皮 膚	アトピー性皮膚炎	2.6	3.3	1.9	2.9	3.4	2.5	2.6	2.8	2.4	2.0	2.3	1.6	
	その他の皮膚疾患	1.5	1.7	1.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	
結核の精密検査の対象者		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
結 核		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		0.4	0.3	0.6	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	0.8	1.0	1.1	0.9	
心 電 図 異 常		2.8	3.1	2.4	2.9	3.2	2.6	3.0	3.6	2.4	
蛋 白 検 出 の 者		0.5	0.2	0.8	0.7	0.5	0.9	3.5	4.1	2.9	4.1	4.8	3.4	
尿 糖 検 出 の 者		0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	
疾 病 ・ 異 常	ぜ ん 息		2.6	3.3	1.9	3.3	3.9	2.6	3.0	3.6	2.4	1.2	1.3	1.0
	腎 臓 疾 患		0.1	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
	言 語 障 害		0.3	0.5	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常		2.0	2.6	1.4	4.0	4.4	3.5	3.8	4.4	3.2	3.6	3.9	3.3

※「永久歯の1人当たり平均むし歯数等」は12歳(中学校1年生)のみの調査項目。

1 むし歯(う歯)

「むし歯(う歯)」のある者の割合(処置完了者を含む。)は、幼稚園 31.6%(平成 28 年度 34.8%)、小学校 46.1%(同 49.9%)、中学校 36.2%(同 34.6%)、高等学校 46.7%(同 47.4%)となっている。(図3)

平成2年度には、70%台から90%の割合でむし歯があったが、平成6~7年度以降は、どの学校種別でも概ね減少傾向にある。(図4)

12歳の永久歯の一人当たりの平均むし歯数は0.7本である。平成6年度に3.6本であったが、その後減少傾向である。(図5)

図3 むし歯の状況

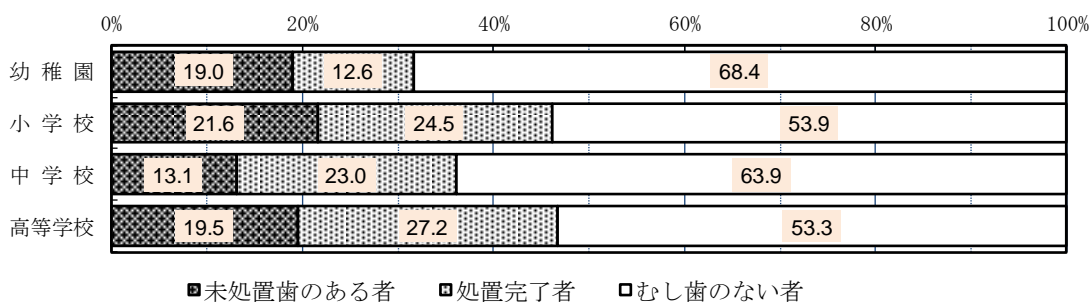


図4 むし歯の者の割合の推移

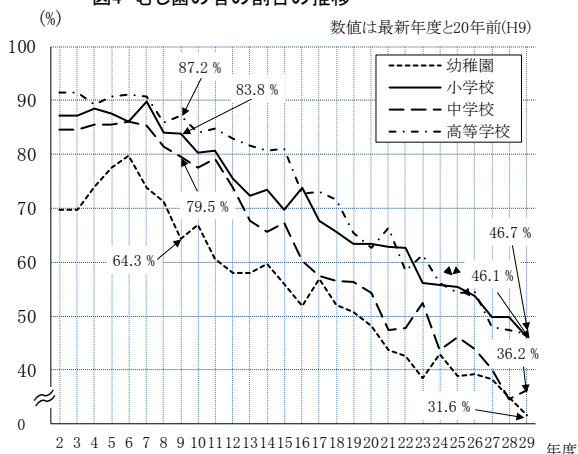
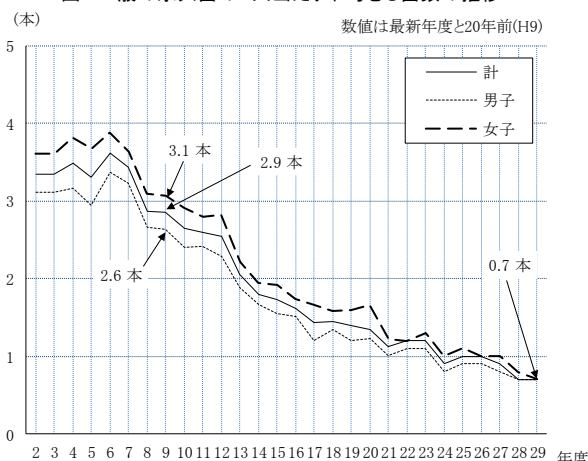


図5 12歳の永久歯の1人当たり平均むし歯数の推移



(注) 平成17年度以前の健康状態調査は、調査対象人数が現行に比べて少ない(3割程度)ため、年度間の数値のばらつきが大きい傾向がある。以下「2 裸眼視力」、「4 ぜん息」について同じ。

2 裸眼視力

「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、幼稚園17.0%、小学校30.7%であり、年齢が進むにつれて高くなっている。(図6、図7)

図6 裸眼視力1.0未満の割合(年齢別)

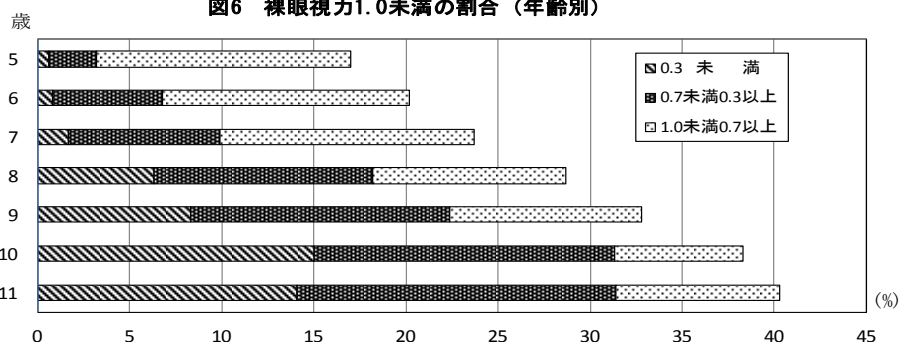
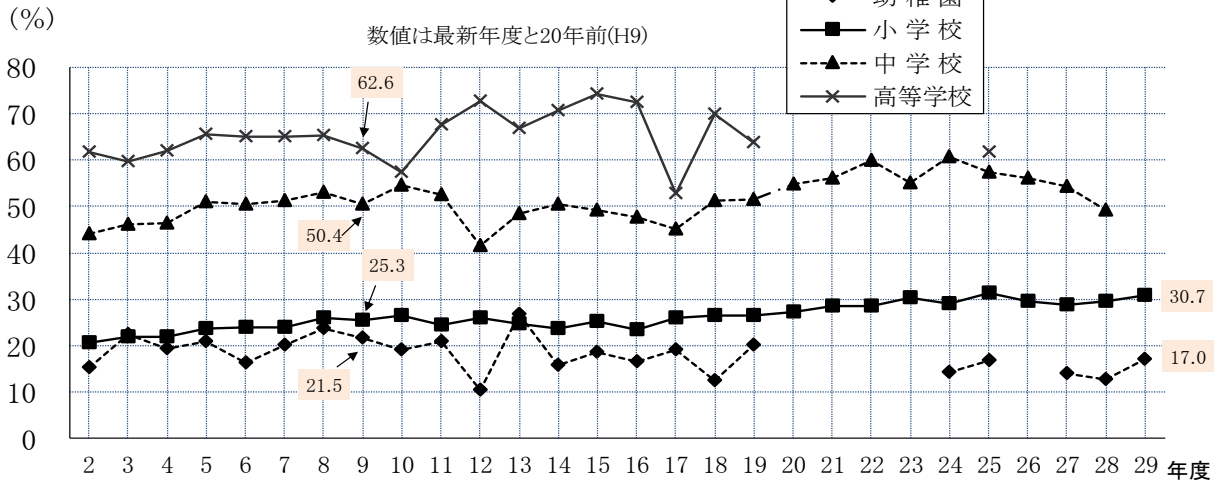


図7 裸眼視力1.0未満の者の推移



(注) 裸眼視力については、視力を矯正している者(眼鏡等装着者)に対して、裸眼視力検査を省略した場合は、その学級全員(男女とも)を未受検者として取り扱うため、他の項目に比べて受検者数が少ない。なお、幼稚園については受検者数が50人未満、高等学校については受検者数が100人未満の年度は統計数値を公表していない。

3 アトピー性皮膚炎(平成18年度から調査)

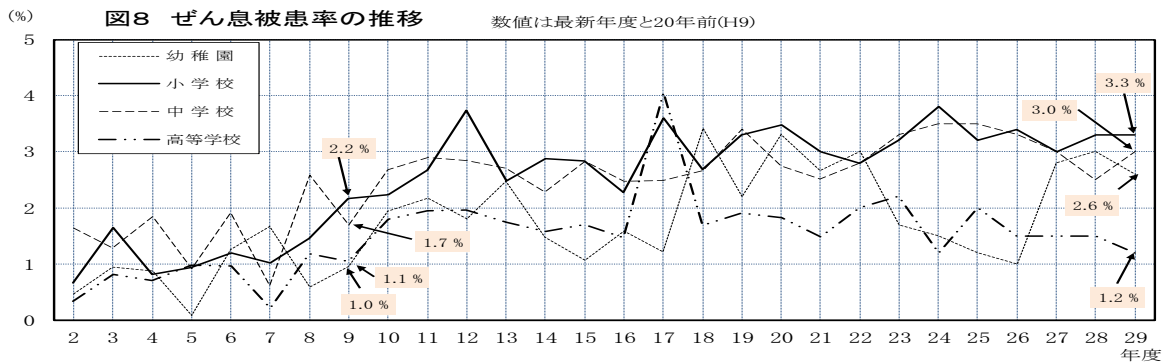
「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園2.6%、小学校2.9%、中学校2.6%、高等学校2.0%で、近年は横ばい傾向にある。(表6)

表6 アトピー性皮膚炎被患率 (単位: %)

年度	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
平成18年度	5.6	3.5	2.5	3.2
"19"	2.7	2.9	3.4	2.7
"20"	4.4	3.3	2.5	2.0
"21"	3.5	3.3	2.5	2.6
"22"	3.4	3.1	2.6	2.3
"23"	3.4	3.0	2.6	2.5
"24"	3.1	3.0	2.6	2.0
"25"	2.4	3.4	2.6	2.0
"26"	2.8	2.7	2.1	1.8
"27"	2.9	2.6	2.3	2.2
"28"	1.9	2.6	2.5	2.4
"29"	2.6	2.9	2.6	2.0

4 ぜん息

「ぜん息」の者の割合は、幼稚園2.6%、小学校3.3%、中学校3.0%、高等学校1.2%で、以前は増加傾向にあったが、ここ10年は横ばい傾向にある。(図8)



Ⅲ 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

1 肥満傾向児の出現率

肥満傾向児の出現率は、男子は15歳の10.20%、女子は11歳の8.13%、が最も高くなっている。(図9)

男女合わせた全国の出現率と比較すると、ほとんどの年齢で全国値を下回っている。

全国値との差が最も大きいのは17歳で、全国9.34%に対し4.97%と4.37ポイント下回っている。差が最も小さいのは14歳で、全国7.53%に対し7.56%と0.03ポイント上回っている。(図10)

図9 肥満傾向児の出現率(兵庫県 男女別)

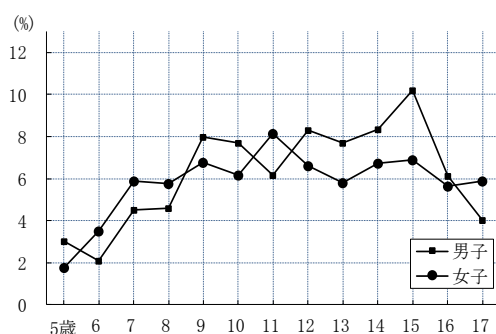
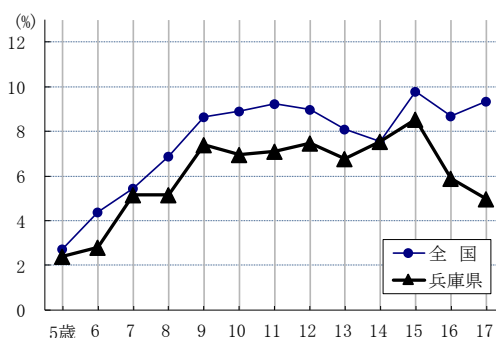


図10 肥満傾向児の出現率(合計 全国・兵庫県比較)



(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

2 痩身傾向児の出現率

痩身傾向児の出現率は、男子は8歳から17歳で1%を超えており、10歳が4.18%で最も高くなっている。女子も8歳、10歳から17歳で1%を超えており、13歳が5.07%で最も高くなっている。(図11,12)

図11 痩身傾向児の出現率(兵庫県 男女別)

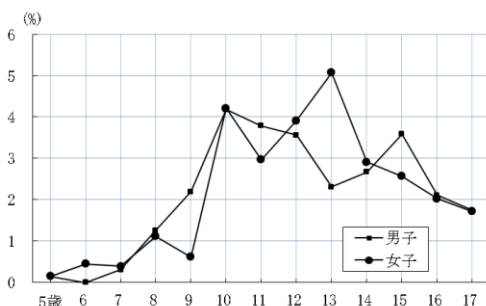
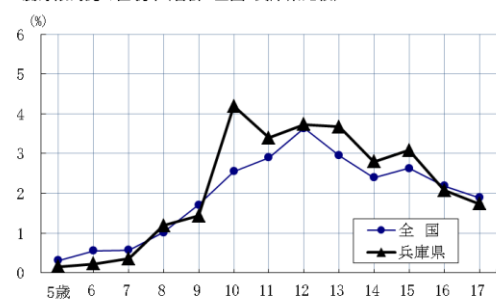


図12 痩身傾向児の出現率(合計 全国・兵庫県比較)



(注) 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

2. 年齢別 疾病・

■男女合計

区 分	計	視力非矯正者の裸眼視力								視力矯正者の裸眼視力				裸 眼 視					
		1.0 以上		1.0 未満		0.7 未満		0.3 未満		1.0 以上		1.0 未満		0.7 未満		計	1.0 未満	0.7 以上	0.3 以上
		1.0 以上	0.7 以上	0.7 以上	0.3 以上	0.3 以上	0.7 以上	0.3 以上	0.3 以上										
幼稚園	5 歳	100.0	81.4	13.3	1.9	0.1	1.6	0.5	0.7	0.5	17.0	13.8	2.6						
小 学 校	計	100.0	68.3	9.4	9.7	3.0	1.0	1.2	2.6	4.7	30.7	10.6	12.3						
	6 歳	100.0	79.7	13.1	5.9	0.6	0.2	0.3	0.1	0.1	20.1	13.4	6.0						
	7 歳	100.0	75.9	13.2	7.7	1.5	0.4	0.5	0.4	0.3	23.6	13.8	8.2						
	8 歳	100.0	70.2	9.5	10.5	3.9	1.0	1.0	1.5	2.4	28.7	10.5	11.9						
	9 歳	100.0	65.3	8.9	10.7	3.5	2.0	1.5	3.5	4.8	32.8	10.4	14.1						
	10 歳	100.0	60.6	5.3	11.9	4.8	1.1	1.7	4.5	10.1	38.3	7.0	16.3						
中 学 校	11 歳	100.0	58.3	6.8	11.4	3.5	1.4	2.1	5.8	10.5	40.3	8.9	17.3						
	計	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X						
	12 歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X						
	13 歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X						
高 等 学 校	14 歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X						
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	15 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	16 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	17 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

区 分	計	永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数					栄 養 状 態	せ 四 肢 柱 ・ の 胸 状 郭 ・ 態	皮膚疾患		結 核 査 核 の 対 精 象 密 者	結 核	心 疾 病 臓 ・ 異 常 の 常
		喪 失 歯 数	むし歯(う歯)			アトピー性皮膚炎			その他の皮膚疾患				
			計	処 置 歯 数	未 歯 処 置 数								
(本)	(本)	(本)	(本)	(本)	(本)								
幼稚園	5 歳	0.3	0.2	2.6	1.5	0.4
小 学 校	計	1.2	1.0	2.9	0.3	0.1	-	1.0
	6 歳	0.5	0.7	3.4	0.6	0.2	-	1.2
	7 歳	0.7	0.6	2.2	0.3	0.1	-	1.2
	8 歳	1.1	0.8	2.9	0.3	0.1	-	1.1
	9 歳	1.4	1.0	2.9	0.2	0.1	-	1.0
	10 歳	1.6	1.2	3.1	0.2	0.1	-	1.0
中 学 校	11 歳	2.0	1.5	3.0	0.2	0.1	-	0.7
	計	0.7	0.0	0.7	0.5	0.2	0.5	3.1	2.6	0.1	0.1	-	1.0
	12 歳	0.7	0.0	0.7	0.5	0.2	0.6	2.4	2.8	0.2	0.0	-	0.9
	13 歳	0.5	3.5	2.8	0.1	0.2	-	1.0
高 等 学 校	14 歳	0.5	3.4	2.2	0.1	0.0	-	1.0
	計	0.6	1.5	2.0	0.3	...	-	1.0
	15 歳	0.8	1.5	2.2	0.3	...	-	1.2
	16 歳	0.6	1.5	1.9	0.2	1.0
	17 歳	0.5	1.4	1.8	0.4	0.8

(注) 1. この表は、疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の割合の
 2. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校
 3. 結核に関する検診の取扱いについては、「学校保健安全法施行規則」の一部改正に伴い、平成24
 精密検査を行うことができるようになったため、「結核の精密検査の対象者」には、学校医の診

異常被患率等（兵庫県）

単位（％）

力 0.3 未 満	眼 の 疾 病 ・ 異 常	難 聴	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔							
			耳 疾 患	鼻 疾 ・ 副 鼻 腔 患	口 腔 患 ・ 咽 頭 異 常	むし歯（う歯）			歯 列 ・ 咬 合	顎 関 節	歯 垢 の 状 態	歯 肉 の 状 態	疾 病 ・ 異 常 の 他
						計	処 置 者	未 処 置 者					
0.6	4.2	…	6.3	3.2	1.7	31.6	12.6	19.0	3.5	0.2	0.8	0.4	2.8
7.7	6.0	0.8	8.8	15.2	1.4	46.1	24.5	21.6	6.4	0.1	3.5	2.3	7.2
0.8	7.2	1.3	11.7	16.1	2.6	37.3	16.0	21.2	3.7	0.0	0.9	0.5	6.8
1.7	4.9	0.6	9.8	13.9	1.4	46.0	22.9	23.2	5.5	0.1	2.5	1.0	5.9
6.3	5.9	0.7	9.0	15.4	0.9	54.7	30.0	24.7	7.1	0.1	4.6	2.1	6.3
8.3	6.7	…	7.0	14.7	1.8	53.7	29.7	24.1	7.5	0.3	3.7	2.6	7.4
15.0	6.4	0.5	7.0	14.2	0.9	47.1	27.2	19.9	7.4	0.1	5.0	3.4	8.7
14.1	4.9	…	8.0	16.8	1.1	37.7	21.0	16.7	7.1	0.1	4.3	4.1	8.4
X	6.3	0.5	5.4	13.7	0.6	36.2	23.0	13.1	5.9	0.6	4.7	3.9	3.0
X	6.2	0.6	5.7	13.9	0.7	33.4	21.1	12.4	6.0	0.6	4.2	3.7	4.9
X	6.0	…	5.3	13.3	0.6	36.8	24.3	12.5	5.3	0.8	4.8	4.3	2.6
X	6.7	0.4	5.1	13.9	0.5	38.2	23.6	14.5	6.4	0.5	4.9	3.7	1.6
-	4.8	0.2	3.9	11.0	0.5	46.7	27.2	19.5	7.8	1.4	6.8	7.7	0.8
-	4.7	0.1	4.0	10.0	0.4	41.3	24.4	16.9	7.7	1.5	6.5	7.2	0.8
-	5.2	…	4.2	12.3	0.5	45.9	25.7	20.2	8.7	1.4	7.0	7.3	0.7
-	4.5	0.2	3.5	10.6	0.5	53.1	31.7	21.4	7.1	1.2	6.9	8.7	0.8

H29

心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	尿 糖 検 出 の 者	その他の疾病・異常			
			ぜ ん 息	腎 臓 疾 患	言 語 障 害	そ 疾 病 の 他 異 常
…	0.5	…	2.6	0.1	0.3	2.0
2.8	0.7	0.1	3.3	0.2	0.2	4.0
2.8	0.4	0.3	4.1	0.2	0.3	4.1
…	0.4	0.0	3.4	0.2	0.1	4.0
…	0.5	0.0	2.8	0.2	0.2	4.0
…	0.7	0.0	3.3	0.2	0.2	3.9
…	0.7	0.0	2.7	0.2	0.1	3.9
…	1.6	0.1	3.4	0.3	0.1	4.0
2.9	3.5	0.1	3.0	0.2	0.1	3.8
2.9	3.1	0.1	3.3	0.2	0.2	3.9
…	3.8	0.2	3.0	0.2	0.1	3.6
…	3.6	0.1	2.8	0.2	0.0	3.9
3.0	4.1	0.2	1.2	0.2	0.0	3.6
3.0	4.8	0.2	1.3	0.2	0.0	3.8
…	3.9	0.3	1.1	0.1	0.0	3.4
…	3.6	0.2	1.2	0.2	0.0	3.7

推定値を示したものである。

が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。
年4月から教育委員会に設置された結核対策委員会からの意見を聞かずに
察の結果、精密検査が必要と認められた者も含まれる。

2. 年齢別 疾病・

■男子

区分	計	視力								裸眼視力			
		視力非矯正者の裸眼視力				視力矯正者の裸眼視力				計	1.0未満	0.7未満	
		1.0以上	1.0未満	0.7未満	0.3未満	1.0以上	1.0未満	0.7未満	0.3未満				
幼稚園	5歳	100.0	81.7	14.0	1.6	0.3	1.1	0.4	0.7	0.3	17.2	14.4	2.3
小学校	計	100.0	72.4	8.5	8.6	2.9	0.7	0.9	2.2	3.9	26.9	9.3	10.8
	6歳	100.0	81.0	11.9	5.8	0.5	0.2	0.4	0.2	0.1	18.9	12.3	6.0
	7歳	100.0	82.0	9.2	6.5	1.2	0.4	0.2	0.3	0.1	17.5	9.4	6.8
	8歳	100.0	72.7	7.7	10.0	4.5	1.1	0.8	1.5	1.8	26.3	8.5	11.5
	9歳	100.0	69.0	9.0	9.9	2.6	1.1	0.9	2.8	4.7	30.0	9.9	12.8
中学校	10歳	100.0	64.3	6.2	9.9	4.6	0.4	1.9	5.1	7.6	35.2	8.1	14.9
	11歳	100.0	65.7	6.8	9.5	3.9	1.2	0.9	3.0	9.0	33.1	7.7	12.4
	計	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	45.5	X	X
高等学校	12歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	13歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	14歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等学校	15歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	計	永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数				栄養状態	せき柱・の胸部郭・態	皮膚疾患		結核検査の精密検査の密者	結核	心臓・異常の常	
		喪失歯数	むし歯(う歯)					アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患				
			計	処置歯数	未処置歯数								
幼稚園	5歳	0.3	0.2	3.3	1.7	0.3	
小学校	計	1.5	1.0	3.4	0.3	0.1	-	1.0	
	6歳	0.6	0.9	3.8	0.6	0.2	-	1.4	
	7歳	0.9	0.5	2.5	0.3	0.0	-	1.0	
	8歳	1.2	0.6	3.0	0.2	0.1	-	1.1	
	9歳	1.5	1.0	3.3	0.2	0.1	-	1.0	
中学校	10歳	1.8	1.1	4.1	0.2	0.1	-	1.2	
	11歳	2.7	1.6	3.5	0.2	0.0	-	0.5	
	計	0.7	0.0	0.7	0.4	0.3	0.6	2.7	2.8	0.1	0.1	-	1.1
高等学校	12歳	0.7	0.0	0.7	0.4	0.3	0.7	2.3	3.2	0.1	0.0	-	1.2
	13歳	0.6	3.0	3.0	0.1	0.2	-	1.1
	14歳	0.5	2.9	2.1	0.0	0.0	-	1.0
高等学校	15歳	0.7	0.9	2.3	0.3	...	-	1.1
	16歳	0.8	0.8	2.7	0.4	...	-	1.3
	17歳	0.6	1.0	2.2	0.2	1.1
計	0.7	1.0	2.1	0.3	0.8	

(注) 1. この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者)の割合の
 2. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校
 3. 結核に関する検診の取扱いについては、「学校保健安全法施行規則」の一部改正に伴い、平成24
 精密検査を行うことができるようになったため、「結核の精密検査の対象者」には、学校医の診

異常被患率等(兵庫県)

単位 (%)

力 0.3 未 満	眼 の 疾 病 ・ 異 常	難 聴	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔							
			耳 疾 患	鼻 疾 ・ 副 鼻 腔 患	口 疾 患 ・ 咽 頭 異 常	むし歯(う歯)			歯 列 ・ 咬 合	顎 関 節	歯 垢 の 状 態	歯 肉 の 状 態	疾 病 ・ 異 常 の 他 の
						計	処 了 者 置	未 処 置 の 者 あ る					
0.6	4.3	...	6.2	3.7	1.4	33.2	12.5	20.7	4.2	0.2	1.3	0.7	2.2
6.8	6.3	0.6	8.5	18.8	1.6	47.8	25.7	22.1	5.7	0.1	4.1	2.7	7.2
0.6	7.6	1.0	10.5	19.0	2.8	38.2	16.4	21.8	2.9	0.1	0.8	0.6	6.6
1.3	5.6	0.5	9.8	17.2	1.9	49.0	24.0	25.0	5.1	0.2	3.0	1.3	5.5
6.3	6.7	0.7	8.9	18.8	1.0	55.0	31.2	23.8	6.1	0.1	4.9	2.1	6.0
7.3	7.2	...	6.1	17.9	1.5	56.2	32.0	24.1	6.4	0.2	3.8	2.5	7.6
12.2	6.1	0.2	6.8	17.7	1.2	48.6	28.3	20.3	6.9	0.0	6.0	4.0	8.3
12.9	4.7	...	9.0	22.0	1.3	39.8	22.2	17.5	6.9	0.0	5.9	5.3	8.9
X	6.8	0.3	5.7	15.8	0.6	34.4	21.2	13.2	5.1	0.6	5.5	4.4	3.3
X	7.0	0.4	6.1	16.3	0.6	33.3	20.0	13.3	4.9	0.6	5.0	4.2	5.4
X	6.1	...	5.7	15.1	0.6	34.8	22.4	12.4	4.4	0.8	5.5	4.9	2.5
X	7.1	0.2	5.2	16.2	0.4	35.0	21.2	13.9	5.8	0.4	5.9	4.2	2.0
-	5.2	0.1	4.4	10.9	0.4	45.0	25.2	19.7	6.7	1.0	7.8	8.8	0.8
-	5.3	0.2	4.6	10.4	0.4	39.4	22.3	17.1	7.0	1.2	7.4	7.7	0.8
-	5.5	...	4.5	11.6	0.3	44.5	24.3	20.2	7.0	1.0	7.5	8.4	0.7
-	5.0	0.1	4.2	10.5	0.4	51.2	29.3	22.0	6.1	0.7	8.5	10.4	0.8

H29

心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	尿 糖 検 出 の 者	その他の疾病・異常			
			ぜ ん 息	腎 臓 疾 患	言 語 障 害	そ 疾 病 の 他 の 常
...	0.2	...	3.3	0.0	0.5	2.6
3.1	0.5	0.0	3.9	0.2	0.2	4.4
3.1	0.3	0.1	4.6	0.2	0.4	4.5
...	0.3	0.0	4.0	0.2	0.1	4.2
...	0.5	-	3.0	0.2	0.3	4.7
...	0.5	0.0	4.0	0.1	0.2	4.2
...	0.2	-	3.7	0.2	0.1	4.4
...	1.2	0.0	4.0	0.2	0.1	4.7
3.2	4.1	0.0	3.6	0.2	0.1	4.4
3.2	3.5	0.0	4.2	0.2	0.3	5.0
...	4.8	0.1	3.3	0.3	0.1	4.2
...	4.0	0.1	3.3	0.2	0.1	4.0
3.6	4.8	0.2	1.3	0.2	0.0	3.9
3.6	5.7	0.1	1.4	0.1	-	4.0
...	4.5	0.3	1.3	0.2	0.0	3.6
...	4.2	0.3	1.4	0.2	0.0	4.2

推定値を示したものである。

が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

年4月から教育委員会に設置された結核対策委員会かを聞かずに
察の結果、精密検査が必要と認められた者も含まれる。

2. 年齢別 疾病・

■女子

区 分	計	裸 眼 視								計	1.0 未 満 0.7 以 上	0.7 未 満 0.3 以 上	
		視力非矯正者の裸眼視力				視力矯正者の裸眼視力							
		1.0 以 上	1.0 未 満 0.7 以 上	0.7 未 満 0.3 以 上	0.3 未 満	1.0 以 上	1.0 未 満 0.7 以 上	0.7 未 満 0.3 以 上	0.3 未 満				
幼稚園	5歳	100.0	81.1	12.7	2.2	-	2.1	0.6	0.7	0.7	16.9	13.3	2.9
小 学 校	計	100.0	64.0	10.5	10.8	3.1	1.3	1.5	3.1	5.6	34.6	12.0	14.0
	6歳	100.0	78.3	14.4	5.9	0.8	0.2	0.2	0.0	0.1	21.5	14.6	6.0
	7	100.0	69.6	17.4	9.0	1.8	0.4	0.9	0.5	0.4	30.0	18.3	9.5
	8	100.0	67.7	11.5	11.0	3.2	1.0	1.1	1.5	3.0	31.3	12.6	12.4
	9	100.0	61.4	8.8	11.4	4.4	2.9	2.1	4.1	4.9	35.7	10.8	15.6
中 学 校	10	100.0	56.7	4.2	14.0	5.0	1.9	1.5	3.9	12.8	41.4	5.7	17.8
	11	100.0	50.5	6.9	13.5	3.1	1.6	3.4	8.9	12.2	47.9	10.2	22.4
	計	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
高 等 学 校	12歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	13	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	14	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高 等 学 校	15歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分	計	永久歯の1人当たり平均むし歯(う歯)等数				栄 養 状 態	せ 四 肢 柱 ・ の 胸 状 郭 ・ 態	皮膚疾患		結 核 査 査 の 対 象 者	結 核	心 疾 病 臓 ・ 異 常	
		喪 失 歯 数	むし歯(う歯)					アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患				
			計	処 置 歯 数	未 歯 処 置 数								
(本)	(本)	(本)	(本)	(本)	態	態	態	態	態	態	態		
幼稚園	5歳	0.2	0.2	1.9	1.2	0.6	
小 学 校	計	1.0	1.0	2.5	0.3	0.1	-	1.0	
	6歳	0.4	0.4	2.9	0.6	0.3	-	0.9	
	7	0.4	0.8	2.0	0.3	0.1	-	1.3	
	8	1.0	1.0	2.9	0.3	0.1	-	1.0	
	9	1.3	1.0	2.4	0.2	0.1	-	0.9	
中 学 校	10	1.4	1.3	2.2	0.1	0.1	-	0.9	
	11	1.3	1.4	2.4	0.2	0.1	-	0.8	
	計	0.7	0.0	0.7	0.5	0.2	0.4	3.5	2.4	0.2	0.1	-	0.8
高 等 学 校	12歳	0.7	0.0	0.7	0.5	0.2	0.4	2.5	2.3	0.2	0.0	-	0.7
	13	0.3	4.0	2.6	0.1	0.3	-	0.9
	14	0.5	3.9	2.4	0.2	-	-	0.8
高 等 学 校	計	0.6	2.0	1.6	0.3	...	-	0.9
	15歳	0.7	2.3	1.8	0.2	...	-	1.1
	16	0.6	2.0	1.6	0.3	0.8
17	0.4	1.8	1.6	0.4	0.8	

(注) 1. この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者)の割合の
 2. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校
 3. 結核に関する検診の取扱いについては、「学校保健安全法施行規則」の一部改正に伴い、平成24
 精密検査を行うことができるようになったため、「結核の精密検査の対象者」には、学校医の診

異常被患率等(兵庫県)

単位 (%)

力 0.3 未 満	眼 の 疾 病 ・ 異 常	難 聴	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔							
			耳 疾 患	鼻 疾 ・ 副 鼻 腔 患	口 疾 患 ・ 咽 頭 異 常	むし歯(う歯)			歯 列 ・ 咬 合	顎 関 節	歯 垢 の 状 態	歯 肉 の 状 態	疾 病 ・ 異 常 の 他 の
						計	処 了 者 置	未 処 置 の 者 あ る					
0.7	4.2	...	6.5	2.6	1.9	30.0	12.6	17.3	2.9	0.2	0.3	-	3.4
8.7	5.7	0.9	9.0	11.4	1.3	44.4	23.2	21.1	7.1	0.2	2.9	1.9	7.3
0.9	6.9	1.6	12.9	13.1	2.3	36.3	15.6	20.7	4.5	-	1.0	0.4	7.0
2.1	4.2	0.7	9.9	10.4	0.8	42.9	21.7	21.3	5.9	0.1	1.9	0.8	6.3
6.3	5.0	0.7	9.1	11.9	0.8	54.4	28.8	25.6	8.2	0.1	4.2	2.0	6.6
9.3	6.3	...	8.0	11.4	2.0	51.1	27.1	24.0	8.7	0.3	3.5	2.6	7.1
17.8	6.8	0.8	7.3	10.5	0.7	45.4	26.0	19.4	7.9	0.3	4.1	2.8	9.2
15.3	5.0	...	7.0	11.3	0.9	35.5	19.6	15.9	7.4	0.1	2.6	2.8	7.8
X	5.8	0.6	5.0	11.5	0.6	38.0	24.9	13.1	6.7	0.7	3.9	3.3	2.7
X	5.3	0.7	5.3	11.5	0.7	33.6	22.2	11.4	7.1	0.6	3.4	3.1	4.3
X	5.9	...	4.9	11.5	0.5	38.8	26.3	12.5	6.2	0.8	4.1	3.7	2.7
X	6.2	0.6	4.9	11.5	0.6	41.5	26.3	15.2	6.9	0.7	4.0	3.1	1.1
-	4.3	0.2	3.4	11.1	0.6	48.5	29.2	19.3	9.0	1.7	5.8	6.7	0.7
-	4.0	0.1	3.4	9.6	0.4	43.2	26.5	16.7	8.4	1.8	5.6	6.6	0.7
-	4.9	...	3.9	13.1	0.7	47.4	27.2	20.2	10.3	1.8	6.5	6.2	0.7
-	4.1	0.2	2.9	10.7	0.6	54.9	34.0	20.9	8.1	1.7	5.2	7.1	0.8

H29

心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	尿 糖 検 出 の 者	その他の疾病・異常			
			ぜ ん 息	腎 臓 疾 患	言 語 障 害	そ 疾 病 の 他 の 常
...	0.8	...	1.9	0.2	0.1	1.4
2.4	0.9	0.1	2.6	0.2	0.1	3.5
2.4	0.4	0.4	3.6	0.1	0.1	3.7
...	0.6	0.0	2.7	0.2	0.1	3.8
...	0.5	0.0	2.6	0.2	0.1	3.2
...	0.8	0.1	2.4	0.3	0.1	3.6
...	1.3	0.1	1.7	0.2	0.0	3.4
...	2.0	0.2	2.8	0.5	0.1	3.2
2.6	2.9	0.2	2.4	0.2	0.0	3.2
2.6	2.6	0.1	2.3	0.2	0.1	2.8
...	2.8	0.3	2.7	0.2	0.1	3.1
...	3.1	0.2	2.2	0.3	-	3.8
2.4	3.4	0.2	1.0	0.1	0.0	3.3
2.4	4.0	0.2	1.2	0.2	0.0	3.6
...	3.3	0.2	0.8	0.1	-	3.3
...	2.9	0.2	1.1	0.1	0.0	3.1

推定値を示したものである。

が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

年4月から教育委員会に設置された結核対策委員会かを聞かずに
察の結果、精密検査が必要と認められた者も含まれる。

3 肥満・痩身傾向児の出現率

○ 肥満傾向児の出現率

H29

■男女計

単位 (%)

区分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校			
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
全国	2.73	4.40	5.45	6.90	8.63	8.89	9.22	8.97	8.09	7.53	9.79	8.67	9.34	
兵庫県	2.40	2.79	5.17	5.16	7.40	6.95	7.12	7.47	6.76	7.56	8.53	5.88	4.97	

(注) 肥満傾向児とは性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。
 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

■男子

単位 (%)

区分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校			
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
全国	2.78	4.39	5.65	7.24	9.52	9.99	9.69	9.89	8.69	8.03	11.57	9.93	10.71	
兵庫県	3.02	2.10	4.51	4.58	7.99	7.70	6.17	8.29	7.71	8.36	10.20	6.12	4.04	

■女子

単位 (%)

区分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校			
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
全国	2.67	4.42	5.24	6.55	7.70	7.74	8.72	8.01	7.45	7.01	7.96	7.38	7.95	
兵庫県	1.77	3.51	5.86	5.75	6.78	6.17	8.13	6.62	5.78	6.73	6.87	5.65	5.87	

○ 痩身傾向児の出現率

H29

■男女計

単位 (%)

区分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校			
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
全国	0.31	0.55	0.57	1.01	1.71	2.55	2.90	3.64	2.95	2.39	2.63	2.19	1.89	
兵庫県	0.15	0.22	0.35	1.19	1.43	4.19	3.39	3.73	3.67	2.79	3.08	2.07	1.73	

(注) 痩身傾向児とは性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。
 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

■男子

単位 (%)

区分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校			
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
全国	0.33	0.47	0.53	0.95	1.57	2.66	3.27	2.96	2.26	2.05	3.01	2.50	2.09	
兵庫県	0.15	0.00	0.31	1.26	2.19	4.18	3.79	3.56	2.31	2.67	3.59	2.11	1.74	

■女子

単位 (%)

区分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校			
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
全国	0.29	0.64	0.61	1.07	1.86	2.43	2.52	4.36	3.69	2.74	2.24	1.87	1.69	
兵庫県	0.15	0.45	0.39	1.12	0.62	4.21	2.97	3.91	5.07	2.91	2.57	2.03	1.72	

平成29年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）
発 育 と 健 康

平成29年12月発行

編集発行 兵庫県企画県民部ビジョン局統計課
神戸市中央区下山手通5-10-1
電話 (078) 362-4130 (直通)

【兵庫県ホームページ：統計】

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/stat/index.html>

★各種統計情報を提供しています。

【県民情報センター】

神戸市中央区下山手通4-16-3（兵庫県民会館4階）
電話 (078) 362-4190

★国、県、市町、団体等の各種統計資料を閲覧できます